

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第六学年 国語



組	番号	名前

【「話すこと・聞くこと」を問う問題】

片岡^{かたおか}さんは、「どのようにしてニュース番組がつけられているのか」について、学級で発表することになりました。片岡さんの発表を聞いて、大森さんは感想を伝えました。次の【片岡さんの発表原こう】と【大森さんの感想】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【片岡さんの発表原こう】

みなさんは、どのようにしてニュース番組がつけられているのかを知っていますか。ニュース番組は、わたしたちの生活に欠かすことができません。そんなニュース番組がどのようにつけられているのかを発表します。

まず、ニュース番組づくりに必要な情報を集めます。そして、どのニュースを放送するかを決めたら、記者が取材に行きます。より正確な情報を得るために、多くの時間をかけて取材の準備を行います。次に、取材した情報やえい像をもとにニュースで読まれる原こうを作成します。放送時間に合わせて、さつえいしたえい像に文字や音声などを入れ、編集をしていきます。最後に、アナウンサーが原こうを読み、スタジオから生放送をします。

わたしは、放送局で働く人の仕事をもっとくわしく知りたいと思いい、「ニュース番組づくり体験」に参加しました。ここでは、プロンプターという役わりをたん当しました。

イ

アナウンサーが正確に原こうを読めるように、合図のタイミングに気をつけました。本番は、一回きりなのでとてもきん張りましたが、上手にできてよかったです。他にもカメラマンやオーディオミキサーなど様々な役わりがあつて、一つのニュースをつくるだけでも、こんなにも多くの人が協力し合っていることにおどろきました。

毎日、当たり前前に放送されているニュース番組が、多くの人の工夫や努力によってつくられていることがわかりました。これからは、放送局で働く人たちの工夫を考えながら、ニュース番組を見たいと思います。

【大森さんの感想】

ア



初めて聞いた言葉があつたので、説明があつた方がわかりやすいね。

① 【大森さんの感想】アには、片岡さんの発表の工夫について書かれています。最もふさわしいものを、次の1～4の中から一つ選びましょう。 **レベル7**

- 1 聞き手の興味をひくために、初めに自分の体験から話しているね。
- 2 聞き手にもいっしょに考えてもらうために、問いかけをくり返し使っているね。
- 3 聞き手に体験の様子がより伝わるように、実際の体験に感想を交えて話しているね。
- 4 聞き手にニュースの重要性が伝わるように、番組づくりの苦勞を話しているね。

② 片岡さんは、大森さんの感想を受けて、 **イ** に次の一文を加えることにしました。その意図として最もふさわしいものを、次の1～4の中から一つ選びましょう。 **レベル7**

プロンプターとは、アナウンサーにセリフや行動の合図を送る人のことを言います。

- 1 特に伝えたい内容をくり返し伝えることで、自分の考えを強調している。
- 2 具体例を示すことで、より身近なこととして考えてもらえるようにしている。
- 3 予想される質問に先に答えることで、スムーズに話が進められるようにしている。
- 4 せん門用語の説明を入れることで、正確に理解してもらえるようにしている。



埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第六学年 国語



組	番号	名前	模範解答

【「話すこと・聞くこと」を問う問題】

片岡^{かたおか}さんは、「どのようにしてニュース番組がつけられているのか」について、学級で発表することになりました。片岡さんの発表を聞いて、大森さんは感想を伝えました。次の

【片岡さんの発表原こう】と【大森さんの感想】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【片岡さんの発表原こう】

みなさんは、どのようにしてニュース番組がつけられているのかを知っていますか。ニュース番組は、わたしたちの生活に欠かすことができません。そんなニュース番組がどのようにつけられているのかを発表します。

まず、ニュース番組づくりに必要な情報を集めます。そして、どのニュースを放送するかを決めたら、記者が取材に行きます。より正確な情報を得るために、多くの時間をかけて取材の準備を行います。次に、取材した情報やえい像をもとにニュースで読まれる原こうを作成します。放送時間に合わせて、さつえいしたえい像に文字や音声などを入れ、編集をしていきます。最後に、アナウンサーが原こうを読み、スタジオから生放送をします。

わたしは、放送局で働く人の仕事をもっとくわしく知りたいと思いい、「ニュース番組づくり体験」に参加しました。ここでは、プロンプターという役わりをたん当しました。

イ

アナウンサーが正確に原こうを読めるように、合図のタイミングに気をつけました。本番は、一回きりなのでとてもきん張りましたが、上手にできてよかったです。他にもカメラマンやオーディオミキサーなど様々な役わりがあつて、一つのニュースをつくるだけでも、こんなにも多くの人が協力し合っていることにおどろきました。

毎日、当たり前前に放送されているニュース番組が、多くの人の工夫や努力によってつくられていることがわかりました。これからは、放送局で働く人たちの工夫を考えながら、ニュース番組を見たいと思います。

【大森さんの感想】

ア



初めて聞いた言葉があつたので、説明があつた方がわかりやすいね。

【1】 【大森さんの感想】アでは、片岡さんの発表の工夫について話しています。最もふさわしいものを、次の1～4の中から一つ選びましょう。

レベル7

- 1 聞き手の興味をひくために、初めに自分の体験から話しているね。
- 2 聞き手にもいっしょに考えてもらうために、問いかけをくり返し使っているね。
- 3 聞き手に体験の様子がより伝わるように、実際の体験に感想を交えて話しているね。
- 4 聞き手にニュースの重要性が伝わるように、番組づくりの苦労を話しているね。

3

- 1 体験は話しているが、初めではない。
- 2 問いかけは最初の一文で使っているが、くり返し使っていない。
- 4 ニュースの重要性や番組づくりの苦労については話していない。

【2】 片岡さんは、大森さんの感想を受けて、イに次の一文を加えることにし

ました。その意図として最もふさわしいものを、次の1～4の中から一つ選びましょう。

レベル7

プロンプターとは、アナウンサーにセリフや行動の合図を送る人のことを言います。

- 1 特に伝えたい内容をくり返し伝えることで、自分の考えを強調している。
- 2 具体例を示すことで、より身近なこととして考えてもらえるようにしている。
- 3 予想される質問に先に答えることで、スムーズに話が進められるようにしている。
- 4 せん門用語の説明を入れることで、正確に理解してもらえるようにしている。

4

「初めて聞いた言葉があつたので、説明があつた方がわかりやすいね。」という大森さんの感想を受けて、プロンプターというせん門用語の説明を入れている。

